

島根低酸素研究所

ご挨拶

当研究所は医療法人郷原医院の開設と同時に、生活習慣病の発症と進展に及ぼす低酸素の影響の研究、生活習慣病の予防や改善における酸素や、抗酸化物質の有用性を検討することを目的に設立されました。特に肝臓病の領域でウイルス肝炎にかわって主役となりつつある脂肪肝やNASHなどに関して、インシュリン抵抗性や肝臓の線維化の進行などにおける低酸素の影響に関して検討するとともに、日々の生活における酸素や抗酸化物質の影響を検討して行きたいと考えております。

島根低酸素研究所 所長 福田 亮

スタッフ

所長 福田 亮

研究領域：低酸素誘導転写因子 HIF-1 とミトコンドリアの活性酸素産生機序、肝線維化における低酸素の影響

研究テーマ

Mild pressure oxygen chamber を用いた酸化ストレスの軽減に関する検討。

色々な健康指標を参考に酸素の効果を検討することで、将来的には肝臓の線維化の抑制、インシュリン抵抗性の改善、脂肪分解促進などに関しての新しい治療法の可能性に関して検討してきたいと考えております。

ミトコンドリア機能の改善を目指した生活習慣の推進

ミトコンドリアの機能改善に有効とされている運動促進、カロリー制限などに加え、ミトコンドリアをターゲットとする幾つかの薬剤、サプリメントの影響を脂肪肝や慢性肝疾患に関して科学的に検討していく予定です。